



# 広報伊丹で振り返る

## 今年の10大ニュース

今年もあと半月となりました。皆さんにとって今年はどうな年でしたか。「広報伊丹」で掲載した記事から1年を振り返ります。

### 1 環境に優しい 電気バスを導入



5月、市交通局は電気バスの試験運行を開始しました。同バスは、走行中に二酸化炭素を排出しない地球環境に優しいバスで、車内にUSBポートを設置し、スマートフォンなどの充電が行えます。また、走行環境の違いによる電力消費のほか、車両性能や最適な充電方法などについてデータを集め、分析しています。

### 2 4年ぶりに開催 伊丹市農業祭



新型コロナウイルス感染拡大により中止となっていた「伊丹市農業祭」が10月、4年ぶりに復活しました。

当日は、地元産の新鮮野菜や米、草花・植木などの販売を行いました。

また、コケ玉講習会やビンゴ大会などのイベントを開催し、会場は多くの人でにぎわいました。



### 3 乳幼児等・子ども医療費 助成制度が拡充



7月から「乳幼児等・子ども医療費助成制度」を拡充し、中学生までの所得制限を撤廃（完全無償化）。

また、新たに高校生世代についても入院医療費が無償になりました。

### 4 いたみ花火大会 コロナ禍前のスタイルに



長く辛いトンネルからようやく抜け出し、新しいスタートを切る気持ちをイメージし、「Reいたみ」をテーマに「第43回いたみ花火大会」を8月に開催しました。

メイン会場には4年ぶりに露店が並び、音楽連動花火では、伊丹大使の花村想太さんがボーカルを務めるDa-iCEの「スターマイン」がフィナーレを飾り、多くの人が花火を楽しみました。

### 5 国際姉妹都市提携から38年 ベルギー国王から勲章

1985年に本市とハッセルト市が国際姉妹都市提携を結んでから今年で38年になります。両国の文化・学術の交流に寄与したとして、1月、ベルギー国王より勲章を受章しました。



JR伊丹駅西側には、1990年にハッセルト市から贈られたカリヨン塔（愛称はフランドルの鐘）が設置され、夜間はライトアップし、まちを美しく彩っています。

### 6 サンシティホール リニューアルオープン



4月、新たに多目的室兼調理室を設置し、サンシティホールがリニューアルオープンしました。

同ホールは、高齢者をはじめとする市民の文化・教養の向上を図る市老人福祉センターで、主な構成員が60歳以上のグループは無料で利用できます。

### 7 プラネタリウム誕生100周年記念 伊丹大使の花村想太さんが星空解説



ドイツで誕生した近代的な光学式プラネタリウムは、今年100周年を迎えました。

これにちなみ、9月30日～12月3日、伊丹大使、Da-iCEの花村想太さんが、子ども文化科学館のレギュラー投影「星空に想いを馳せて」の星空解説を務めました。

また、同時開催の「花村プラネット」、「100周年展」にも多くの人が訪れ、花村さんと同じ年齢の同館の歴史などを観覧しました。

### 8 中心市街地 電線類を地中化



3月、猪名野神社前～伊丹アイフォニックホール前において、電線類の地中化工事（無電柱化工事）が完了しました。

同工事では、道路の色彩を城下町の風情を感じられる石畳調に統一しました。

また、安心・快適に通行できるよう雨水が地下に浸透しやすい透水機能を備えた舗装への改良や視覚障がい者誘導用ブロックの整備などバリアフリーにも力を入れています。

### 9 新庁舎議場初 議場コンサートを開催



2月、市議会本会議場で伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団による議場コンサートを開催しました。

3年ぶり、新庁舎の議場では初めてとなる同コンサートは、市民により親しまれる議会を目指し21回目を迎え、加藤完二さんの指揮で序曲「天国と地獄」などを演奏しました。

### 10 市内の事業者と一緒に 広がる食品ロス削減の輪



本来食べられるのに捨てられてしまう食べ物のことを「食品ロス」と言います。

市は、市内スーパーと協力し、買ってすぐに食べるときは商品棚の手前から取る「てまえどり」のポップを掲示して食品ロス削減に取り組んでいます。

また、家庭で余った食材を集めて寄付する「フードドライブ」や小盛りや食材を使い切るメニューなどの提供で食べ残しを減らす協力店の募集などを行い、食品ロス削減の輪を広げています。